

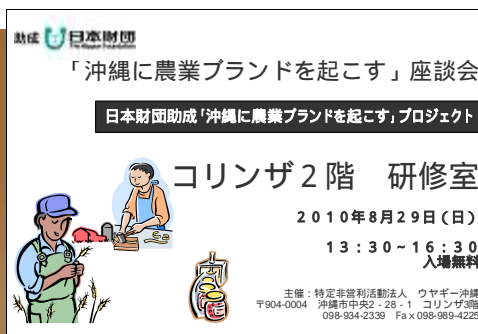
「沖縄を元気にする農業ブランド」プロジェクト第5回

“農業を主体に、若者と高齢者による持続可能な地域活性化を目指す”

座談会 活動報告書

1. 日 時 平成22年8月29日(日)午後1時半～4時
 2. 会 場 沖縄市中央2-28-1 コリンザ2階研修室
 3. 参加費 無料
 4. 内 容 農業を主体に、若者と高齢者による持続可能な地域活性化を目指す
- 司会:NPO法人 ウヤギー沖縄 理事長 近藤 正隆

私どもウヤギー沖縄は、平成22年8月29日(日)、沖縄市コリンザ2階研修室にて「沖縄を元気にする農業ブランド」プロジェクト第5回として“農業を主体に、若者と高齢者による持続可能な地域活性化を目指す”座談会を開催しました。今回の座談会は、農商工連携のプロジェクトがスタートする中、これまでセミナーに参加いただいた方で同プロジェクトに参加しない方々より、農商工連携とは別の座談会を開いてほしいというご要望を多数いただきましたので開催することになりました。座談会には農業関係者、商業関係者ら 18 名に参加いただきました。



座談会の様子

座談会はまず、司会の特定非営利活動法人ウヤギー沖縄理事長、近藤正隆氏によるイントロダクションから始まりました。近藤氏は地域社会の助け合い精神の再生、適正収益確保による農業従事者の生活向上、若者自立支援と、若者が夢を持てる社会の確立など、ウヤギー沖縄が掲げる七つの事業目標を紹介。次に現在進行中の農商工連携プロジェクトの様子を紹介し、今後の展望を説明しました。

イントロダクション後の座談会では、参加者が各自の取り組みや課題、悩みなどを発表しました。発表では「作物には自信がある。販売経路を拡大したい」、「人手が足りなくて年々耕作地が縮小してゆく」などの課題が挙がり、意見交換が活発に行われました。

私どもウヤギー沖縄は、これからも農業を主体とする、若者と高齢者による持続可能な地域活性化を目標に活動を行ってまいります。

参加者の声

ずっと携わってきた農業が、雇用問題や食の安全の問題などに寄与するということを改めて認識できた。多いに協力したい。(50代男性)

農業はお金がかかる。しかし、なかなか儲けにならない。現在の農業も頭打ちだ。農協に頼らない、あたらしい農業の共同体が必要だ。是非多くの人に参加してほしい。(40代男性)

しっかりと生活の出来る農業の形を作りたい。子供たちに自分たちの畑を残してあげたい。(50代女性)

これからは広報などにも積極的に農家に関わるべきだ。そのためには新しい勉強が必要になるが、新鮮で楽しい。(60代男性)